

ICT通信



令和4年10月6日
No.6
ICT環境研究開発委員会
(文責 鈴木瑞穂)

先日、授業開始前に生徒用タブレットを取りに行くと、保管庫にはタブレットが数台しか残っていませんでした。先生方が昨年度の取り組みを生かし、積極的に授業で活用されていることを実感しました。

ICT活用について、様々な授業での実践を知ることによってヒントや発想を得ることができ、自分の授業づくりに生かすことができると思います。今後も、先生方の取り組みや実践を学校全体で共有していきたいと思っておりますので、引き続き、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

今回は、理科の化学反応式を作る活動に Jam board を活用した実践をご紹介します。

Jam board の操作性を生かした活用 (理科)



タイトルなどを背景として設定できます。

付箋でシートを割り振ることができます。

水素と酸素から水ができる化学変化

Bさん

$O_2 + H_2 \rightarrow H_2O$

操作前のシート

水素と酸素から水ができる化学変化

Bさん

$2 H_2 + O_2 \rightarrow 2 H_2O$

操作後のシート

画像をコピーして増やすことができます。

【生徒の学びの様子】

- ・簡単な操作で粒子モデルを複製できることから、原子の数を等しくするための調整に主体的に取り組んでいた。
- ・化学反応式の矢印の左右で原子の数を等しくするためには、原子ではなく、分子そのものを増やすことに気づくことができた。
- ・化学反応式の原子や分子の係数は書き込みの機能を使って提示したが、生徒の中にはテキストを挿入して係数を入力するなど、他の学習活動で習得した操作を活用して取り組む姿が見られた。



今回の実践は、木曾先生の音楽の授業実践からヒントを得たものです。

Jam board は、意見整理などに有効なアプリですが、簡単な操作でテキストや図を移動したり、複製したりできます。操作的な活動をしながら視覚的なイメージをもつことに効果的だと思います。ぜひ、ご活用いただき、成果や感想を教えてください。